

令和5年度 地域と学校の連携・協働に係る研修会

趣 旨：地域と学校が連携・協働した活動の推進を図るため、地域学校協働活動を中心とした活動の在り方について研修する。

今年度は、先進的な取組を行っている学校・地域の事例発表、CSマイスターによる講演をとおして、連携の在り方や地域の力を活用した取組について学ぶ機会とした。

日 時：令和5年11月28日（火） 13：30～16：30

場 所：山梨県総合教育センター 大研修室

参加者：学校教職員、行政職員、学校教育関係者（学校運営協議会委員、地域コーディネーター、学校支援ボランティア等）、保護者、地域住民 等 約200名

内 容：

1 事例発表（概要）

甲州市立菱山小学校

校長 松井 渉 先生

コーディネーター 三森 始 氏



地域の山である棚横手山は過去4度の山林火災があり、平成21年から地域住民の呼びかけにより地域の山を守るための植林活動が行われてきた。菱山小学校では総合的な学習の時間において、森の仕組みや役割、森林の仕組みや役割、森林との向き合い方について学ぶ森林学習を行ってきた。学校運営協議会長である三森氏が、学校運営協議会での熟議を踏まえ、地域の願いと学校の願いを繋ぎながら菱山小学校の植林学習をコーディネートしている。菱山地区では「大人になってもふるさとに愛着と誇りが持てる児童になってほしい。」という思いが地域と学校で共有され、将来の地域を担う人材育成に繋がりたいという思いのもと、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動が一体的に行われている。これらの活動が評価され、菱山小学校は令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受賞した。

2 講演

「地域学校協働活動の充実とコミュニティ・スクールについて理解を深めよう」

文部科学省 CSマイスター 杉並区立天沼小学校学校運営協議会委員

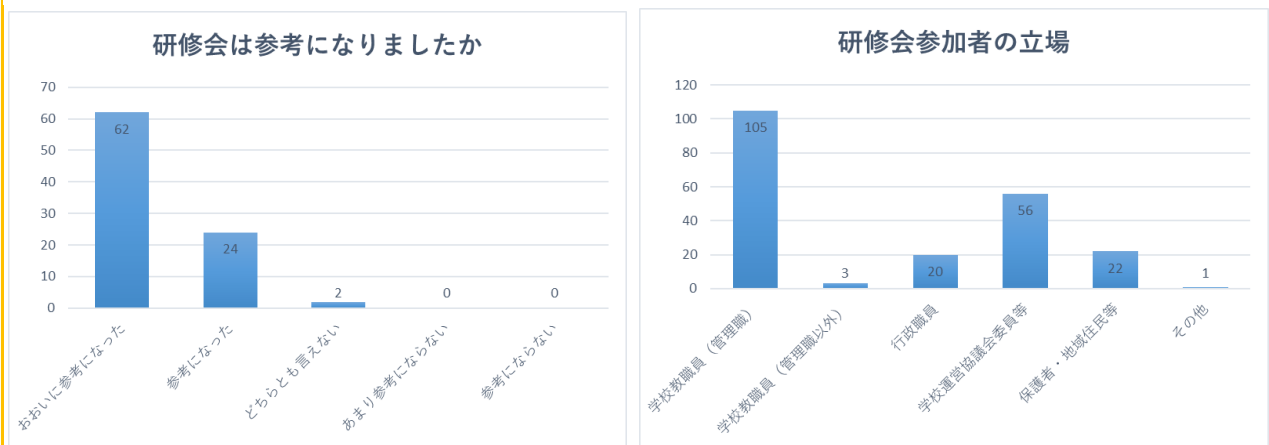
一般社団法人 S.PLACE 代表理事 井上 尚子 氏

井上氏の出発点は我が子が通う小学校のPTA活動だった。学校と保護者・地域住民が一体となって子どもたちの成長を育んでいく重要性を感じ、杉並区学校教育コーディネーター及び学校運営協議会の委員となった。これらの経験を生かし、現在は文部科学省のCSマイスターとして全国各地でCS推進のための研修会や講演会を行っている。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進において最も重要なのは「共有」である。情報の共有・課題や目標の共有・アクションの共有・成功体験の共有等、全ては一つの共有から始まる。対話と信頼を大切に、「チーム学校」として学校と地域が熟議を繰り返し、連携することで「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」が実現可能となる。

講演会では、全国の先進的な事例が数多く紹介された。山梨県の各地域でも実現可能な取り組みを考えるグループ協議の場も設けられ、活発な意見交換がなされた。地域学校協働活動のキーマンとなるコーディネーターの役割や重要性が改めて確認された。

参加者からの感想等



- * [講演] 大変わかりやすい講演でした。また、学校教諭ではない視点での率直な講演内容は、大変参考になりました。
- * [講演] 来年度、コミュニティ・スクールを立ち上げるにあたって心配なことがありましたが、本日のお話はとても分かりやすく、教えていただくことがたくさんありました。
- * [講演] コミュニティ・スクールが学校に必要とされている理由をもとに、地域学校協働活動の実践例やコーディネーターの役割などについて、詳しくわかりやすく教えていただけて、これからの活動のイメージを持つことができました。今後、学校の目指すべきビジョンを明確にしながら、学校、地域（保護者）が連携して、子どもたちの成長と地域の活性化を目指せる学校運営をめざしていきたいと思います。
- * [講演] コミュニティ・スクールのこれからのあり方、進め方等、非常に明確にお話くださり、自身の勤務校についての検証にもなりました。ご講演の中でご紹介いただいた実践についても、勤務校で取り組んでいることと重なる部分があったり、さらに、これから先どのように進めていくのがいいのか、具体的にご示唆いただくことができました。周りの参加者方と協議をする時間を作っていただいたことも有意義なひとときとなりました。
- * [講演] 地域とのつながりをどのように築いていくのか悩んでいた部分もあっが、これからはあまり難しく考えすぎずに、「対話」と「信頼」をキーワードに取り組んでいきたい。
- * [事例発表] 地域の想いが形になり、学校と地域が一带となって同じ方向を向いて進んでいることが素晴らしいと感じた。
- * [事例発表] たいへんわかりやすい発表でした。三森コーディネーターの関わりが明確で、無理なく有意義な活動の実践をされている状況が伝わってきました。地域の方々が学校の職員と一緒に、子どもたちのために何かできることに取り組んでいる姿に感動し、できることから少しずつ取り組んでいきたいと思いました。
- * [事例発表] 学校のランドデザインをもとにコミュニティ・スクールのねがいが明確になっており、それをもとに地域学校協働活動が実施されている点が大いに参考になりました。また、実践例を多く発表していただき、今後の活動に生かすことができるものとなりました。
- * [事例発表] 地域と学校が見事に融合し、コミュニティ・スクールのお手本のような実践がなされている。やはりコーディネーターの存在が大きいと思った。